

## 代表質問



### 新型コロナウイルス 感染症対策中心に

今回の代表質問では、「新型コロナウイルス感染症の対策」を中心に、「ワクチン」における県政運営」「地球温暖化対策」「大規模盛土の災害防止対策」「農業分野への企業参入」「夜間中学校の設置」「県立高校入学者の定員割れ」などについて質問しました。

新型コロナウイルス感染症対策について

(①質問) ワクチン接種の現状と今後の見通しについて

(答弁) 県内では、7月末までに高齢者への接種を終え、現在(9月14日現在)、すべての市町村において12才以上の全世代を対象として接種が進んでいます。今後10月上旬までに県民の8割以上の方が2回接種できるワクチン接種完了が見込まれています。

(②質問) 市町村によるようにワクチン供給関係の情報提供をしていくのか

(答弁) 7月は、市町村の接種ペースに対して全国的にワクチン供給が追い付かず、県も市町村と同じ思いで全国知事会等を通じ、極力早期の配分提示を国に対し強く求めきました。その結果、10月上旬までに県民の8割以上が2回接種できるワクチン量が確保できる見込みとなっていました。県はこれまで、国から示された配分枠をもとに、各市町村の接種計画や未接種ワクチン量を丁寧に聞き取ったうえで、各クールの配分量をきめ細かく調整してきました。現時点で10月上旬までの市町村ごとの配分量をすでに示しており、これにより多くの市町村では、10月中旬の接種完了を見込んでいます。

(③質問) 児童生徒への感染予防対策をどのように徹底していくか

(答弁) 国が示す衛生管理マニュアルに基づき、児童生徒のみならず、同居家族も風邪症状がある場合は登校を回避するなどの

県民へのワクチン接種をさらに加速し、11月末までの接種完了目標ができるだけ前倒しできるよう、市町村と連携して全力で取り組んでまいります。

基本的な感染防止対策の十分な周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、クラス等で陽性者が確認された際、濃厚接触者から外れるとしてPCR検査の対象外となる場合や県外から帰郷した生徒などには、抗原検査キットを活用し、感染の蔓延を防いでいます。さらに、通学時の感染リスクを減らすため、密集が想定される区間でJRを利用する高校生を対象に、登校時のバス輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通実態により車両を減少させる対策や一定区域を低速度とするゾーン30規制などの安全対策をとっているが、速度低下を促す

れる子どもたちへの支援など、4項目にわたり県の見解を質しました。

まず、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を

と、教職員のワクチン接種を8

月末までに完了していること、

ワクチン接種対象でない12歳未

なる場合や県外から帰郷した

生徒などには、抗原検査キット

を活用し、感染の蔓延を防いで

います。さらに、通学時の感染

リスクを減らすため、密集が想

定される区間でJRを利用する

高校生を対象に、登校時のバス

輸送を実施しています。

子どもたちへの支援など、周知や部活動での県内外の学校との交流などを制限しています。また、新型コロナ感染症の子

の下校時における通学

路の安全確保について、下校時間に合わせた「進入禁止」や「30キロ速度制限」などの対策をとっています。

警察本部長は、通学路の交通

実態により車両を減少させる対

策や一定区域を低速度とする

ゾーン30規制などの安全対策を